

医薬品用ポリエチレングリコール『マクロゴール』の生産能力を増強

三洋化成工業株式会社
(証券コード：4471)

三洋化成工業株式会社（本社：京都市東山区、代表取締役社長：樋口章憲、以下、三洋化成）は、医薬品用ポリエチレングリコール『マクロゴール』について、今後の需要拡大に対応するため、生産能力を増強することを決定しました。当社名古屋工場における設備の更新および改造等により、生産能力を現在の約2割増強します。投資金額は約1億円で、2024年5月の稼働を予定しています。当社は、『マクロゴール』の能力を今後さらに引き上げる計画を進めており、今回の増強はその計画の一環です。

『マクロゴール』は、日本薬局方（局方）または医薬品添加物規格（薬添規）に記載された規格を満たす、医薬品・医薬品添加剤^{※1}用のポリエチレングリコール（Polyethylene glycol：PEG）の総称です。PEGは酸化エチレンと水との付加重合体で、当社は1960年に日本で初めてPEGを製品化し、1971年に『マクロゴール』を販売開始しました。

『マクロゴール』は、その分子量により、液状、ペースト状、固状などの性状があり、いずれも水溶性で生理学的に不活性であることが特長です。医薬品添加物としては、その特長に応じて、液状のものは保湿剤や外用液剤の安定化剤、注射剤など脂溶性薬物の可溶化剤（溶解補助剤）、ペースト状のものは軟膏基剤、固状のものは、坐薬基剤、錠剤のコーティング剤や錠剤用バインダーとして使用されています。『マクロゴール』単独では、製剤（腸管洗浄剤^{※2}や便秘薬）、医薬品製造用薬剤（血漿分画用沈殿剤^{※3}など）に用いられるほか、組織再生、細胞培養、ドラッグデリバリーシステムなどにおける修飾剤など、さまざまな用途展開も進んでいます。今後、ジェネリック医薬品の発展による医薬品全体の販売量増加や新規用途拡大に伴い、『マクロゴール』はさらなる需要拡大が予想されます。

三洋化成の『マクロゴール』は、製造設備や品質管理における厳しい基準（GMP：Good Manufacturing Practice）に準拠した管理体制の下、製造されています。今回の生産能力の増強により、『マクロゴール』の今後の需要増に対応した安定供給を確保し、旺盛な需要拡大に対応します。当社は、今後も高品質な『マクロゴール』を提供することで、世界中の医療の発展と人々の健やかな暮らしの実現に貢献してまいります。

【三洋化成の『マクロゴール』シリーズ】

- 商品名（公定書）
- マクロゴール 200（薬添規収載品）
- マクロゴール 400（局方収載品）
- マクロゴール 1500（局方収載品）
- マクロゴール 4000（局方収載品）
- マクロゴール 6000（局方収載品）
- マクロゴール 20000（局方収載品）

※1 医薬品添加物は、薬効に合わせた製剤化をするために医薬品に用いられる添加物で、①使用性の向上（扱いやすさ、飲みやすさ）、②品質の安定化（変質防止など）、③有用性の向上（狙いの場所まで届くように助けること、効果発現速度の調整など）、④安全性の向上（副作用の低減など）などのはたらきを付与するもの。

syu

- ※2 精密検査や大腸手術の前に腸管をきれいにする必要があり、その腸管洗浄に『マクロゴール』が用いられる。

- ※3 献血などで集められた血液から作り出される医薬品を総称して血液製剤と呼び、治療などに有効な抗体や血液凝固成分などのタンパク質を分離・精製（分画）する際に用いられる沈殿剤のこと。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

三洋化成工業株式会社

経営企画本部 広報部

電話 075-541-4312

<https://www.sanyo-chemical.co.jp/>